

## 診断依頼フォーム 作成の流れ

### 1. 写真撮影

- 外部（外装・屋根・基礎立上等） ⇒ バルコニー ⇒ 小屋裏点検口内部 ⇒ 室内（居室・キッチン・浴室・トイレ等） ⇒ 床下点検口 といった順序で、各部屋の収納等も含め「ひび割れ」「シーリングの破断」「水染み跡」等の劣化事象の有無を点検します。
- 「ひび割れ」については、メジャーをあてて写真を撮影しておく、後の経年観察に便利です。また、外壁やバルコニーの床面等については、目立った劣化事象が無い場合も写真を撮影しておく、ご自身でも後の経年観察がしやすくなります。
- 劣化事象の写真は、できる限り、「遠景（劣化事象の位置が分かる資料）」「近景（劣化状況がわかる資料）」「反対側（室内の場合はその部分の外装側、天井の場合はその上階の床等）」の3枚をセットとして撮影してください。
- 外装のひび割れ等について、劣化箇所が多数ある場合は、各外装面について、劣化が著しい2～3箇所を撮影してください。

### 2. 写真の圧縮

- 撮影した写真を「600×800ピクセル」程度に圧縮し、PC等に保管してください。

### 3. 写真シートの作成

- 劣化事象が有る場合は、遠景・近景・反対側の3枚1セットの写真を、診断依頼フォームの「点検写真シート」に貼り付けてください。「点検写真シート」が不足する場合は、適宜シートを増やしてください。（1シートに3枚写真を貼り付けることが可能ですので、劣化箇所1か所につき1シート使用してください。）
- 劣化事象が無い場合も、適宜「現況写真シート」に写真を貼り付けてください。特に注意して見る箇所や、写真を撮影して記録に残すことが望ましい場所は、下記をご参考にしてください。「現況写真シート」が不足する場合は、適宜シートを増やしてください。（撮影箇所ごとにシートを分ける必要はございません。）
- いずれの写真も、撮影した箇所や、劣化事象の内容等をご記載ください。その他、気になったこと等は備考欄へご記載ください。

#### 【注意して見る箇所・写真を撮影して記録に残したい箇所】

##### <外装>

基礎の立上り / 外装各面のひび割れ・変色・浮きの有無 / 外装・外壁・サッシ廻りのシーリングの割れ、欠損等の有無 / 軒天の変色・水染み跡 / 樋の割れ、脱落、落ち葉等の詰まり / 屋根の変色、割れ、苔等の繁茂

##### <バルコニー>

バルコニーの床のひび割れ / 防水層の割れや浮き、立上り（特に出入りする窓サッシ枠の下部の浮き、染み跡、割れ） / 笠木と壁との取り合い等のシーリングの劣化 / ドレインの詰まり

##### <室内>

天井および壁との境の変色や水染み跡 / サッシ枠の下部・上部の水染み跡（特に出窓、天窗）

##### <点検口>

小屋裏点検口 / 浴室天井の点検口 / 点検口内の雨漏り跡の有無 / 床下点検口内の蟻害、水染み跡等の有無

##### <給排水管・柵>

キッチン、洗面室等の給排水立上りからの漏水有無 / 外部水道メーター（水を止めていてもメーターが動いている場合は漏水の可能性あります） / 排水柵内部の配管の割れ、植物の根の進入、つまり等の有無

以上